

## 事業実績書

団体名

吉敷地区地域づくり協議会

## 1 地域づくりの活動方針(テーマ)

住民一人ひとりが主体的に地域の中でふれあい、ともに支え合う土壌をつくりあげていくことが重要であり「みんなで支え合う 笑顔あふれるふれあいのまち 吉敷」をスローガンに、次の5つの分野に地域課題を整理するとともに、地域としてこれから目指していく将来像を掲げ、課題解決に取り組んでいきます。

活動目標1「地域振興」ふれあいと交流による元気で住みよいまち  
 活動目標2「地域福祉」ともに支え合い心豊かに暮らせるまち  
 活動目標3「安心・安全」みんなで協力してつくる安心で安全なまち  
 活動目標4「環境づくり」美しい自然をみんなで守る快適なまち  
 活動目標5「地域個性創出」固有の歴史や文化による個性あふれるまち

## 2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	地域の見守り・ふれあい活動などの総合調整		
	事業名	ふれあいネットワーク	決算額	100,465円
②	視点	住民の交流促進		
	事業名	よしきフォトコンテスト	決算額	718,350円
③	視点	地域の歴史や文化を活用した個性あふれる地域づくり		
	事業名	文化振興	決算額	1,149,793円

## 3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
<p>①ふれあいと交流による元気で住みよいまちづくりを推進するために、2回開催した多くの地域住民や地域づくり関係団体が集まるワークショップにより、関係者による見守り活動の仕組みづくりに取り組みました。地域の見守り活動の充実に向けた総合的な協議・検討を行い、「ふれあいネットワーク協議会」を設立しました。</p> <p>そこでは、①地域住民の機運の醸成と②地域による具体的な取り組みが提案され、まずは、メールによる情報提供の発信から取り組むことが決まりました。情報発信の手段として既存の「吉敷地区セーフティネット」を活用することで、地域での見守り活動やふれあいあいさつ運動をはじめ、各種イベントや行事、有害鳥獣情報などの様々な地域情報を幅広く発信できるようになりました。</p> <p>今後は、「高齢者の見守り」総決起大会や「子どもの見守り」総決起大会を開催するなど、住民の機運の醸成を図り、更なる地域の見守り活動の充実に向けた取り組みを推進していきます。</p>	△
<p>②ふれあいと交流による元気で住みよいまちづくりを推進するために、吉敷地域のテーマである「笑顔あふれるふれあいのまち 吉敷」に沿った「吉敷の四季の風景とその中でふれあう人々の写真」や「吉敷で開催される様々なイベントや行事で交流する人々の写真」を募集する吉敷フォトコンテストを開催しました。</p> <p>フォトコンテストの開催にあたりフォトコン実行委員会を設置し、より多くの写真の応募やイベント等への参加者の増加等を図るため、写真教室の開催や良城商工振興会との共催によるコロッケ作戦等を実施しました。</p> <p>また、応募のあった写真をカレンダーにして広く配布することで、多くの人に地域の魅力を再発見していただき、新たな参加や交流を創出することができました。</p> <p>引き続き、より多くの地域住民の参加と新たな交流の創出につながるフォトコンテストの開催に取り組めます。</p>	◎

③多くの方々に吉敷地域を散策して自然や文化の魅力を再認識・再発見していただくため、地域散策ガイドブック「吉敷さんぽ」を活用して、地域の歴史を学ぶ地域散策講座や郷土学習講座などを開催しました。

郷校「憲章館」出身の若者たちが幕府軍と戦った「芸州口の戦い」での活躍を専門家の解説を受けながら和木町、小瀬川周辺、岩国市を視察するバスツアーを開催したところ、あっという間に定員に達する申し込みがあるなど好評を得ました。

吉敷地域に所在した「野村家」の古文書を教材とした「古文書読書会」を開催するとともに、古くなった案内看板や地域散策ガイドブック「吉敷さんぽ」巻末添付の「散策マップ」を、拡大案内看板として地域交流センター敷地内に設置しました。

引き続き、より多くの地域住民の参加が得られる地域散策講座や郷土学習講座、歴史等散策ツアーの開催などに取り組みます。

◎

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

#### 4 総括

今年度は「吉敷まちづくり計画」をもとに、課題解決に向け地域で活動している様々な団体や行政と連携しながらまちづくりに取り組みました。

ふれあいと交流による元気で住みよいまちづくりを推進するために、「よしきフォトコンテスト」や地域食堂「えがお食堂よしき」を開催するとともに、地域ぐるみによる見守り活動の仕組みづくりにも取り組み、「ふれあいネットワーク協議会」を設置しました。多くの地域住民や地域づくり関係団体の参画による実行委員会は、地域課題の解決に向けての地域での話し合いの場となっています。

また、地域情報を広く地域住民に伝えるため、地域住民と地域づくり関係団体等からの参画を得て設立された広報委員会は、地域の情報の収集や発信に努めながら3年が経過し、この間、地域広報紙やウェブサイトの実質に取組むとともに、町内会・自治会未加入者にも広報紙を手にとっただけのよう配布先の拡大などにも取り組みました。地域住民からは一定の評価が得られるとともに、昨年度に引き続き山口県公民館報コンクールや全国公民館報コンクールともに優秀賞を受賞することができました。

#### 5 事業内容

##### (1) 協議会運営

事業費	9,410,495円(交付金5,380,146円)
事務局の運営体制	<p>(事務員等の雇用人数) 事務局長1名 事務員4名</p> <p>(運営費の主な内容) 事務局人件費、事務費</p> <p>(成果・評価) 吉敷地域は、地域づくり協議会業務をはじめ、自治会業務、地区社協業務、地区社協が受託する指定管理業務、地域交流センター地域担当窓口業務補助など多岐にわたる業務を5人体制で担っており、事務局員は慌ただしい時期を過ごすこともありました。こうしたことから、都度、地域づくり協議会役員や地域交流センターと運営や業務について意見交換を行い地域交流センターと連携して業務を進めており、一定の運営支援は得られています。</p> <p>(今後に向けて) 地域づくり活動や地域福祉活動支援など、多岐にわたる業務に事務局長1名、事務局員4人体制で効率的に遂行するため、業務の棲み分けや、事務分担の見直しなどに取り組むことが必要であり、地域づくり関係団体や地域交流センターとの連携が重要です。</p> <p>年々業務が増加していることから、事務局の負担を軽減するため、引き続き、地域づくり協議会役員や地域づくり関係団体、地域交流センター等と協議・連携しながら、事務局運営を行っていきます。</p>

## (2) 地域振興

事業名	吉敷まちづくり計画の普及・啓発
事業費	206,242円(交付金59,362円) (内自主財源:146,880円)
事業概要	<p>(実施内容) まちづくりの主役である地域住民にとってより身近で、計画の基本方針や取り組みを地域全体で共有し、住民主体のまちづくりを進めるため、町内会・自治会や地域づくり関係団体へ計画書を配布するとともに、地域住民へ計画書の概要版を配布しました。また、地域広報紙やウェブサイトなども活用しながら、計画書を広く普及・啓発しました。</p> <p>(実施時期) 通年 (参加人数) 地域住民、地域づくり関係団体</p> <p>(成果) わかりやすく具体的な活動が計画書により共有できたため、自分たちのまちのために課題の解決方法を地域住民で話し合う場ができました。その結果、課題の解決に向けて進むことができました。</p> <p>(評価) 通年</p> <p>(今後に向けて) 引き続き、住民主体のまちづくりを進めるため、町内会・自治会や地域づくり関係団体との連携のもと、地域課題解決の解決に取り組んでいきます。</p>

事業名	ふれあいあいさつ運動・ふれあいネットワーク
事業費	100,465円(交付金100,465円)
事業概要	<p>(実施内容) 吉敷ふるさとまつりにおいて応募のあった標語の中から、選出された作品を地域広報紙に掲載するなど、ふれあいあいさつ運動を推進しました。毎月の鴻南中学校区地域協育ネット「あいさつの日」に合わせて、吉敷地域では登校時間帯の立哨に取り組みました。また、吉敷地域の見守り活動やふれあいあいさつ運動を総合的に推進する「ふれあいネットワーク協議会」を設立しました。</p> <p>(実施時期) 通年 (参加人数) 2,000人</p> <p>(成果) 吉敷ふるさとまつりで「ふれあい標語」を募集し、地域広報紙「ふるさとだより よしき」で紹介するなど、ふれあいあいさつ運動に取り組みました。</p> <p>(評価) 年間を通して、ふれあいあいさつ運動に取り組むことができました。吉敷地域の取り組みである「あいさつの日」の立哨箇所工夫を加えながら、活動に参加する人の増加に取り組みました。また、吉敷地域の見守り活動やふれあいあいさつ運動を総合的に推進する「ふれあいネットワーク協議会」を設立し、地域住民や地域づくり関係団体とで協議・検討することができるようになりました。</p> <p>(今後に向けて) 引き続き、「ふれあいネットワーク協議会」において吉敷地域の見守り活動を総合的に協議・検討し、子どもや高齢者の見守り総決起大会をそれぞれ開催し、吉敷地域の見守り活動を推進します。</p>

事業名	旧出張所・公民館跡地利用
事業費	0円(交付金0円)
事業概要	<p>(実施内容) まちづくり計画に沿った「ふれあいと交流による元気で住みよいまちづくり」を推進するため、特別委員会において引き続き有効な利用方法の検討を進めることとしておりますが、JA山口県の組織再編の動向など情報を得るにとどまりました。</p> <p>(実施時期) 通年 (参加人数) 地域住民</p> <p>(成果) 吉敷地域の玄関口であり、顔でもある跡地の活用について検討を進めることとしていますが、山口県農協の組織再編の動向の情報を収集しましたが、地域住民の意見を収集することはできませんでした。</p> <p>(評価) 地域としての具体的な活用方法は、平成27年度に地域住民を対象に実施したアンケートで収集した情報しか得られておらず、協議を進めることができませんでした。</p> <p>(今後に向けて) 活用方法に対する地域住民の思いを収集するために、ワークショップを開くなど、引き続き跡地の活用について協議を進めていきます。</p>

事業名	夏まつり・ふるさとまつり
事業費	780,998円(交付金555,021円) (内自主財源:225,977円)
事業概要	<p>(実施内容) 夏祭り、秋祭りの開催</p> <p>(実施時期) よしき夏まつり8/13、吉敷ふるさとまつり11/11</p> <p>(参加人数) 延べ3,000人</p> <p>(成果) 新たな実行委員を加えながら若者を中心とする実行委員も4年目となり、企画から準備など円滑な運営ができました。新しいアイデアが出されるなど、吉敷の祭りに新たな風を入れることができました。</p> <p>(評価) 新たな企画により、多くの参加者とのふれあい、交流が図られるとともに、新たな実行委員を中心とした運営を進めるための基盤づくりが確立されつつあります。</p> <p>(今後に向けて) 新たな委員による実行委員会を継続するため、事務局との役割分担等を検討するとともに、楽しく関われる会にするには実行委員どうしの交流も必要です。</p>

事業名	よしきフォトコンテスト
事業費	718,350円(交付金658,350円) (内自主財源:60,000円)
事業概要	<p>(実施内容) テーマに沿った写真のコンテスト、写真教室の開催</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 地域住民</p> <p>(成果) 地域住民や地域づくり関係団体で組織する実行委員会を設立し、その中で、イベント等への参加者の増加を図るとともににより多くの写真の応募につながるよう検討を行い、地域内外から226点の応募作品を集めることができました。また、応募写真をカレンダーにして配布することにより、多くの方々に吉敷地域のことを知っていただくとともに地域の魅力を再発見していただきました。引き続き、より多くの地域住民の参加と新たな交流の創出につながるフォトコンテストの開催に取り組みます。</p> <p>(評価) 誰もが気軽に参加できるように、初心者を対象にした写真教室を開催するとともに、夏まつりやふるさとまつりの会場に於いて応募ブースを開設するなど、交流したり、ふれあう人々の写真を広く募集することができました。地域内のイベントや交流の場を広く紹介するための応募作品などを活用した「よしきフォトカレンダー」は好評を博しました。</p> <p>(今後に向けて) 引き続き、地域住民や地域づくり関係団体が集まる実行委員会で、誰もが応募できる「よしきフォトコンテスト」が継続できるように進めていきます。</p>

事業名	人材発掘に向けた交流事業
事業費	270,088円(交付金270,088円)
事業概要	<p>(実施内容) 地域の人材発掘のため地域交流センターと共催で実施する交流事業について、今年度は地域づくり協議会はアクティブエイジを対象に、地域交流センターは若者を対象にそれぞれ担当しました。若者対象の事業は、親子や現役世代の交流の拠点として、休耕田を活用した「YOSHIKIわくわくファームらんど」を開園し、家族単位の親子で野菜を育て、その収穫した野菜で夏、秋に交流イベントを開催しました。アクティブエイジの交流事業は、「吉敷の近未来を語る交流会」と称した、地域活動を後押しするワークショップを開催しました。</p> <p>また、吉敷出身のプロサッカー選手である原川力選手の帰山に合わせて、子ども達との交流として「こどもドリームプロジェクト吉敷～Jリーガー原川力選手によるサッカー教室～」を開催し、子どもたちが夢を持てるように交流の場を設けました。</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 200人</p> <p>(成果) 4年前から実施してきた交流事業は、地域づくり協議会と地域交流センターがそれぞれ「若者」「アクティブエイジ」と担当を持つこととし、それぞれが交流事業を開催することができました。プロスポーツ選手と子ども達との交流は、企画の段階から地域住民の参画が得られるとともに、サッカー教室当日はスポーツ少年団やその家族など多くの参加があり盛況でした。</p> <p>(評価) 地域づくりを進めていくには、新たな人材を知ることが重要であり、そのきっかけとなる交流事業は地域づくりの中心的な事業の一つです。アクティブエイジの交流については、多くの住民を巻き込む具体的な事業の組み立てには至っていませんが、若者の交流については、地域の耕作放棄地等を活用して、現役世代親子の参加を募り、農業を体験しながら住民どうしの交流を促進する場を創出する企画について協議・検討を進め、次年度も実施に向けた準備を進めるなど、一定の進捗がみられます。</p> <p>(今後に向けて) 引き続き地域交流センターと連携しながら、人材発掘と育成のための事業を進めていきます。</p>

事業名	広報活動
事業費	415,842円(交付金415,842円)
事業概要	<p>(実施内容) 地域づくり関係団体や地域住民等の参画を得て設置した「広報委員会」により、地域住民に対して発信していきたいことや、お知らせしたいことなどを互いに持ち寄り、広報紙やウェブサイトなどを活用して、地域の様々な情報を発信しました。</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 20人</p> <p>(成果) 地域情報を広く収集しながら、魅力ある広報紙の作成やウェブサイトの充実に取り組みました。広報紙に新たなコーナーを設けたり、新たな広報委員も広く地域住民から募集するなど、地域に開かれた広報委員会運営に努めてきました。今年度、全国公民館報コンクールで最高賞に次ぐ「優秀賞」、県公民館報コンクールにおいても「優秀賞」のダブル受賞をし、手に取って読みたくなる表紙や特別企画、団体・人物の紹介、編集後記など、「地域とつながる」内容が高く評価されました。</p> <p>(評価) より多くの地域住民のもとへ広報紙を届けたいという広報委員の地道な活動により、地域に広く知っていただける広報紙となっています。吉敷地域の魅力を届けたいと、広報委員会では活発な意見も多く出るようになりました。</p> <p>(今後に向けて) 引き続き、紙面の充実や配布の拡大等に取り組んでいきます。</p>

事業名	人権学習の推進
事業費	58,559円(交付金58,559円)
事業概要	<p>(実施内容) 各種啓発活動や講演会の開催に取り組みました。</p> <p>(実施時期) 10月、11月</p> <p>(参加人数) 地域住民</p> <p>(成果) 偏見や差別のない地域社会の形成を進め、ふれあいと交流による元気で住みよいまちづくりを推進するために、幼稚園、小学校、中学校と連携した講演会を開催するなど人権学習に取り組みました。</p> <p>(評価) より多くの地域住民が参加できるように、チラシを回覧するなど講演会の広報に力を入れ、それぞれの講演会には地域住民が足を運ぶことができました。</p> <p>(今後に向けて) 引き続き、偏見や差別のないふれあいと交流による元気で住みよいまちづくりに取り組んでいきます。</p>

事業名	子ども会活性化
事業費	5,000円(交付金5,000円)
事業概要	<p>(実施内容) 子ども会活動などを通じた、元気で活力のある地域づくりに取り組むため、町内会・自治会の役員と子ども会とが現状把握と今後の取り組みについて協議しました。</p> <p>(実施時期) 10月～12月</p> <p>(参加人数) 150人</p> <p>(成果) 町内ごとに町内役員や子ども会役員が各々の状況を話し合うことにより、町内での情報の共有ができ、今後の町内の協力体制等について協議することができました。</p> <p>(評価) 子ども会加入率の低下が、子ども会活動に大きく影響することが確認され、町内ごとに町内の状況に沿った協力体制が協議されました。</p> <p>(今後に向けて) 今後は町内ごとに進められることとなり、子ども会活動の活性化が図られ、元気で活力のある地域づくりに取り組んでいきます。併せて、子ども会のない町内会・自治会へは、引き続きその重要性について協議を進めます。</p>

### (3) 地域福祉

事業名	大運動会・多世代交流グラウンドゴルフ大会
事業費	95,075円(交付金95,075円)
事業概要	<p>(実施内容) 大運動会は雨のため残念ながら中止となりましたが、親睦やふれあいを目的とした地区親睦ゴルフ大会や多世代交流グラウンドゴルフ大会は開催しました。</p> <p>(実施時期) 11月・3月</p> <p>(参加人数) 100人</p> <p>(成果) 大運動会は、体育振興会を中心に年齢層を考慮した種目の検討を行うなど、地域住民が参加しやすい大会運営に努めましたが、残念ながら雨天のため中止となりました。親睦ゴルフ大会は、実行委員会が中心となり呼びかけを行うなど、新しい参加者の顔も見えるようになっていきます。グラウンドゴルフ大会は、大人と子どもがチームを組む地域独自のルールで楽しみながらプレイすることで、多世代間の交流が深まりました。</p> <p>(評価) 誰もが参加しやすい種目を取り入れた大運動会やグラウンドゴルフなどを開催することにより、新たな参加者も得られています。</p> <p>(今後に向けて) 引き続き、多くの地域住民が参加しやすい事業となるよう、次年度に向けて準備を進めていきます。</p>

事業名	健康づくりの推進
事業費	60,000円(交付金60,000円)
事業概要	<p>(実施内容) 食生活改善推進協議会と母子保健推進協議会の取り組みを支援することで、地域における健康づくりを推進しました。</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 150人</p> <p>(成果) 健康づくりを推進する地域内活動団体へ支援することにより、一体となった事業の推進を図ることができました。</p> <p>(評価) 活動団体においては、事業の充実が図られ、地域づくり協議会との一体感が持たれたとともに、地域課題の解決に向けた取り組みが活発になりました。</p> <p>(今後に向けて) 地域課題の解決のため、また、各種団体の円滑な事業運営のため、事業支援を継続することで一体となって地域づくり事業を進める必要があります。</p>

### (4) 安心・安全

事業名	地域防災体制の充実
事業費	54,764円(交付金54,764円)
事業概要	<p>(実施内容) 地域広報紙などを活用した防災知識の普及・啓発や防災講演会・学習会などの開催に取り組みました。また、自主防災組織を設立し、防災計画の策定や図上訓練に取り組み、防災資機材の整備について検討しました。</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 地域住民</p> <p>(成果) 地区防災会から選出した広報委員により、地域住民に対して活動内容をウェブサイトで紹介したり、自主防災組織等の必要性を伝えてきました。図上訓練を経験した後、防災資機材を活用した訓練も開催し、地域防災事業の推進に努めてきました。</p> <p>(評価) 地域住民に対して防災意識の高揚や防災知識の普及・啓発などを行うとともに、図上訓練に基づく現地確認を実施したことは、一定の事業推進ができました。</p> <p>(今後に向けて) 引き続き、地域防災体制を充実していくため、各町内会・自治会から選出された防災委員との連携体制などの地区防災会の組織強化を進めていくこととしています。</p>

事業名	交通安全・防犯対策
事業費	178,000円(交付金178,000円)
事業概要	<p>(実施内容) 交通立哨や各種交通安全講座、青パトによる巡回などに取り組みました。うそ電話詐欺防止キャンペーンや防犯パトロールなどに取り組みました。</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 地域住民</p> <p>(成果) 地域住民に対して、うそ電話詐欺防止キャンペーンや防犯パトロールなどに取り組み、委員が率先して交通立哨などを実施しながら、交通安全や防犯対策等の必要性を伝えてきました。</p> <p>(評価) 地域住民に対して、交通安全やうそ電話詐欺防止への普及・啓発などを行ない、定例的に青パトによる巡回を実施したことにより、地域住民が交通安全やうそ電話詐欺などを普段の生活の中で意識することができました。</p> <p>(今後に向けて) 引き続き、活動を通して地域住民に交通安全・防犯対策等の必要性への周知に取り組みながら、地域の交通安全・防犯対策を進めていきます。</p>

事業名	反射鏡・交通安全施設の充実
事業費	323,000円(交付金323,000円)
事業概要	<p>(実施内容) 町内会・自治会等からの要望に基づき、反射鏡や交通安全施設を整備しました</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 地域住民</p> <p>(成果) 町内会・自治会からの要望に基づき交通安全対策を実施しました。</p> <p>(評価) 路面表示により交通事故防止に寄与しました。</p> <p>(今後に向けて) 引き続き、町内会・自治会を通して地域住民に補助制度を周知しながら、地域の交通安全対策を進めていきます。</p>

事業名	青少年の健全育成
事業費	237,060円(交付金237,060円)
事業概要	<p>(実施内容) 青少年の健全育成のための見守り活動や各種啓発活動に取り組みました。</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 地域住民</p> <p>(成果) あいさつを通じて、地域住民どうしが顔見知りになるとともに、見守り活動を拡大することから、青少年の安心安全、犯罪の抑制を図ることができました。</p> <p>(評価) 青少年の健全育成を地域ぐるみで進めることにより、みんなで協力してつくる安心で安全なまちづくりを推進することができました。</p> <p>(今後に向けて) 引き続き、関係団体とともに活動を通じ、連携を取りながら青少年の健全育成のための対策を進めていきます。</p>

(5) 環境づくり

事業名	環境づくり
事業費	250,005円(交付金250,005円)
事業概要	(実施内容) 環境美化活動の推進と自然環境の保全に取り組みました。 (実施時期) 通年 (参加人数) 地域住民 (成果) 関係団体との連携のもと、美しい自然をみんなで守る快適なまちづくりを推進することができました。 (評価) 関係団体からの課題を見つけ、その解決のために関係団体との連携のもと事業に取り組んだことは、今後の取り組みへの糸口が見つけられたものと思われます。 (今後に向けて) 引き続き、関係団体との連携を強化し、美しい環境づくりを目指しながら快適なまちづくりを推進します。

事業名	ホタルが飛び交うふるさと吉敷
事業費	139,539円(交付金86,989円) (内自主財源:52,550)
事業概要	(実施内容) 学校、地域、行政の連携により、5月には河川清掃、6月にはホタル採取を行い、9月には良城小学生のホタルに関するポスターや標語作品の表彰とホタルの飼育状況の発表といった式典、3ヶ月間良城小学校で飼育したホタルの放流を行いました。 (実施時期) 5月～9月 (参加人数) 700人 (成果) 毎年の活動によりたくさんのホタルが飛び交っています。来年度も、ふるさとの川にたくさんのホタルの乱舞が期待できます。 (評価) 地域は学校・子ども・ホタルのために参加し、学校は地域づくりの一翼を担うため開かれた学校を目指し、子どもたちは環境意識を高め、それぞれがふるさとへの愛着と命の尊さを学ぶことができ、改めて有意義な事業だと考えています。 (今後に向けて) 引き続き、小学校との連携を強化し、美しい環境づくりを目指します。

(6) 地域個性創出

事業名	文化振興
事業費	1,149,793円(交付金1,104,293円) (内自主財源:45,500円)
事業概要	(実施内容) 地域散策イベントや郷土学習講座の開講、文化財の活用に向けた調査・検討など、文化による地域づくりに取り組みます。案内板の整備や文化遺産資料の収集、文化の保存・継承に取り組みました。 (実施時期) 通年 (参加人数) 100人 (成果) 芸州口の戦いバスツアーには、定員を大きく上回る申し込みがあり好評を得ました。昨年に引き続き、古文書を教材とした「古文書読書会」を開催しました。多くの方に吉敷地域を知り、散策していただくため、地域散策ガイドブック「吉敷さんぽ」の巻末に添付しているマップを看板として拡大し、設置しました。また、案内板の設置にも取り組み、文化の保存・継承に取り組みました。 (評価) 芸州口の戦いバスツアーには、定員を大きく上回る申し込みがあり好評を得ました。拡大案内看板の設置や古くなり読めなくなっている案内板の作り替え設置により、住民に吉敷地域を散策してもらうための基盤づくりができました。 (今後に向けて) 引き続き、多くの地域住民の参加が得られる地域散策講座や郷土学習講座、歴史等散策ツアーの開催などに取り組み、文化による地域住民の交流をさらに進めていきます。